

第101回
全国高校野球
青森大会
第8日

光星 大一番で雪辱

山田高 初回の1点のみ

▽3回戦（青森市営）
青森山田
100
201 000 000 000 010 X
41
八学光星

（青）小牟田、堀田、工藤黎
（八）横山海、太山
▽本塁打 佐々木（青）
▽二塁打 川原田（青）、伊藤、武岡、大江（八）
▽暴投 小牟田2（青）



「青森山田（八学光星）1回裏、八学光星無死一、三塁、近藤が左前打を放ち、1・2と逆転。捕手・工藤黎＝青森市営



青森山田打線を初回の1点に抑え、完投した八学光星・横山海

春の敗戦ばね 光星

ハイライト

春の県大会の回戦で青森山田に敗れてから約2カ月。センバツ出場チームとしてこれ以上ない屈辱を味わった八学光星は、縁の相手に決勝、10度目となる夏の甲子園に前進した。「青森山田を倒すために練習してきた」と、主将武岡は興奮をため、チームは敗戦後、東北大会や

横山海 1失点完投

今大会での青森山田の戦いぶりを映像で振り返り確認。今大会初先発の横山海を大一番に起用したのも、左腕を苦手にしている」と分析してのことだった。その横山海は初回、「警戒していた」と、青森山田の先頭打者・佐々木に中越え本塁打を浴びた。出はなをくじかれたが、ナインに動揺はなかった。「丁寧に投げて抑えられると思っていた」と横山海。冷静に後続を打ち取ると、その裏、今大会6打点と絶好調の主軸近藤が左前に2点適時打を放ち、すべし逆転に成功した。

直球を本塁打にされた横山海は、スライダーを決め球とした変化球主体の配球に変更。二回から五回を散発の安打と危なげなく抑えた。六回には二塁打と死球など2死一三塁のピンチを招いたが、（中）も動じず、中飛に打ち取った。

「春の敗戦以降、ナインの練習に対する意識が変わった。意味のある敗戦だった」と武岡。だが目標はあくまで甲子園出場。そして、その先に目指える全国制覇まで駆け上がる覚悟だ。（大久保拓也）

【評】序盤に青森山田の先発小牟田を攻略した八学光星が大一番を制した。八学光星は一回裏、先頭の伊藤が二塁打で出塁、続く鳥袋の犠打がミスを誘い、近藤の適時打で逆転に成功した。四回以降は二番手の堀田を攻めあぐねたが、八回に武岡の犠飛で貴重な追加点を挙げた。先発横山海は167球を投げて完投。青森山田の得点は佐々木の先頭打者本塁打で挙げた1点のみ。散発4安打とつながりを欠き、援護できなかった。